

## 未来の地球にポジティブなインパクトを ～新戦略「SOMPO Earth Positive Actions」始動～

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役代表執行役社長：奥村 幹夫、以下「SOMPOホールディングス」）は、新たなグループ戦略「SOMPO Earth Positive Actions」を策定しました。新戦略では、これまでの「SOMPO気候アクション」を進化させ、気候変動のみならず、生物多様性、循環経済を統合的に捉えた「シナジーアプローチ」を核とし、人権への配慮を基盤として、地球環境への貢献とグループの持続的成長の両立を目指します。

### 1. 「SOMPO気候アクション」からの進化

SOMPOホールディングスは2021年の「SOMPO気候アクション」公表以来、グループ全体で気候変動対応のフレームワークを構築し、2050年のネットゼロ実現に向けた取組みを実践してきました。「SOMPO Earth Positive Actions」は、これらの気候変動への対応を継続・進化させるとともに、SOMPOグループの多様な事業で築いてきた「地域のネットワーク」、サステナビリティに関する「グローバルなルール形成への貢献実績」、長年にわたり継続してきた「環境分野での人材育成」といった、SOMPOならではの強みや独自性を最大限に活用していきます。

### 2. SOMPOグループの強みを活かした取組み

新戦略では、2050年のネットゼロ実現に向け、SOMPOグループの社員約7万人が一丸となり、お客さま、ビジネスパートナー、地域社会をはじめとするすべてのステークホルダーと共に、以下の3つの観点で未来に向けたポジティブな変革を創出するソリューションを実装していきます。

\* 掲載事例は代表的なアクションです

#### (1) 地域

事業活動を通じて構築した地域ネットワークを活用し、地域の環境・社会課題解決に貢献します。

- ・ HIKESHI DNA 2030 Project<sup>\*1</sup>始動による防災・減災分野の取組み
- ・ 地域企業の脱炭素経営支援<sup>\*2</sup>

#### (2) グローバル

国際ルール形成・政策提言への関与により産業界全体のジャストトランジションに貢献します。

- ・ WBCSD（持続可能な発展のための世界経済人会議）との連携による普及啓発（企業のバリューチェーンにおける物理的リスクへの対応とマネジメント強化、レジリエンス向上等）<sup>\*3</sup>
- ・ 損害車両の循環利用（リユース・リサイクル・リビルド）モデルの構築

#### (3) 人材育成

アクションの担い手となる、環境分野で活躍する人材の育成に貢献します。

- ・ 一般財団法人ネイチャープレナー・ジャパンと協業で実施する、生物多様性分野における起業家支援等を通じた「ネイチャーポジティブ・エコシステム」の構築<sup>\*4</sup>

- ・ 32年目を迎えた「市民のための環境公開講座（延べ5.3万人参加）※<sup>5</sup>」や15年間で6.8万人以上が参加した生物多様性保全活動「SAVE JAPAN プロジェクト※<sup>6</sup>」等を通じた、環境問題の解決に向け具体的に行動する人の輪の拡大
- ・ 環境NPOに学生をインターンとして派遣する「CSOラーニング制度」。25年で1,500名以上を輩出した「修了生コミュニティ」を最大限活用し、世代やセクターの枠を超えた強固な連携を創出し、社会全体の環境アクションを牽引※<sup>7</sup>

### 3. 今後について

当社は、SOMPO Earth Positive Actions をベースに、国内外のあらゆるステークホルダーと対話を行い、お客さまへの最適なソリューションの提供や課題解決の支援を通じて、企業価値の向上と社会のジャストトランジション（公正な移行）に貢献していきます。こうした着実な価値創造に向けて、今後具体的なKPIの策定・公表、ならびに進捗の管理に取り組みます。

※1 [災害に強く、だれもが安心して暮らせる地域社会の実現を目指す損保ジャパンのプロジェクト（2026年3月25日リリース）](#)

※2 [中堅中小企業向け脱炭素経営支援サービス 電気AI診断『デンキチェック』の展開を開始（2026年1月7日リリース）](#)

※3 [SOMPOホールディングス、地球環境戦略研究機関が物理的リスクへの対応に関する WBCSD 最新レポートの日本語翻訳版を共同作成（2026年3月30日リリース）](#)

※4 [〈一般財団法人ネイチャープレナー・ジャパン〉企業7社と連携、助成総額2,500万円規模で自然資本再生を担うネイチャープレナーの本格支援開始](#)

※5 [市民のための環境公開講座](#)

※6 [SAVE JAPAN プロジェクト2025-2026第Vフェーズ（発展期）ネイチャーポジティブの実現に向けた進化（2025年9月8日リリース）](#)

※7 [CSOラーニング制度25周年記念イベント「つなぎ、つながり、未来をつくる」の開催（2025年11月13日リリース）](#)

\* SOMPO Earth Positive Actions は、当社が新たに特定したマテリアリティの中核として位置付けています。詳細は、本日発信の[トピックス](#)および参考①をご覧ください。

以上

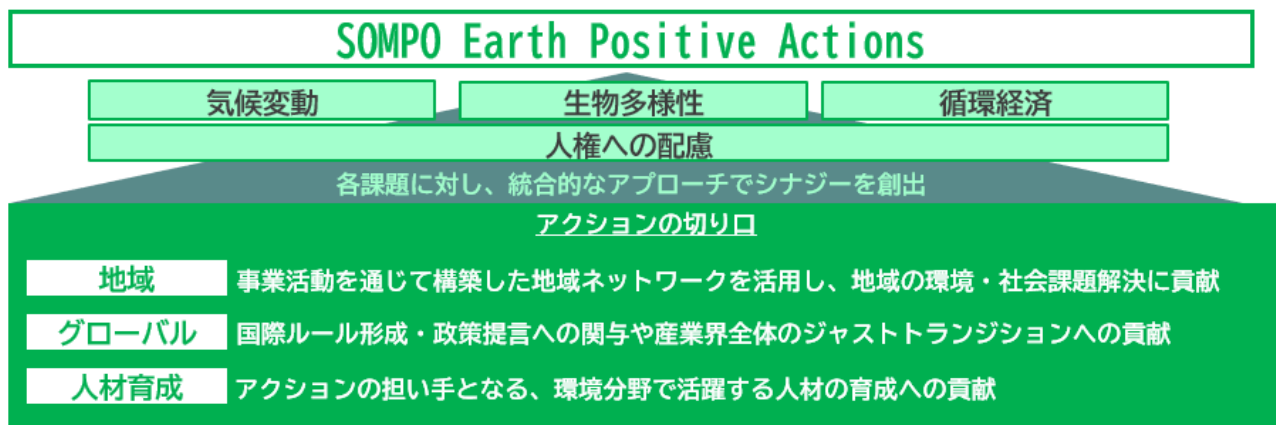
<参考①> SOMPOのマテリアリティ

「安心・安全・健康”であふれる未来へ”の実現

社会・財務インパクト創出による持続的成長



<参考②> SOMPO Earth Positive Actions の概念図



<参考③> SOMPO Earth Positive Actions のパーパス実現に向けたロードマップイメージ図

	2021-2025年	2026年	2030年	2050年
<b>戦略</b>	SOMPO 気候アクション	SOMPO Earth Positive Actions		
<b>GHG削減</b>	自社GHG スコープ1,2,3 (除くカテゴリ15)  2025年目標 ✓ 排出量25%削減 (19年比) 投資GHG スコープ3・カテゴリ15	削減対象資産 の拡大	2030年目標 ✓ 排出量60%削減 (17年比) ✓ 再エネ導入率70%  ✓ 排出量50-60%削減 (19年比)	ネットゼロの実現
<b>商品・サービスの提供</b>	2026年目標 ✓ 脱炭素に資する保険商品の 保険料収入 250億円	エンゲージメントと、商品・サービスの提供を通じた、 取引先や社会のジャストランジションを支援		
<b>エンゲージメント</b>	✓ GHG高排出企業 上位20社 選定と対話  対話 テーマ	気候変動・生物多様性・循環経済 人権 バリューチェーン管理		

「安心・安全・健康”であふれる未来へ”の実現